

## S 1 6 . キー・コンピテンシー自己チェックの分析結果一覧

チェックの分析結果やアドバイスを表示します。

過去の分析結果の履歴を表示します。

マイページ
講座
サークル
学びの和
レポート  
フォリオ
アドバイザー
ログアウト  
トップページ

担当者検索

**★ 仕事 華子さんのコンピテンシー・チェック最新結果**

2011/03/09 17:49:29

	コンピテンス	アドバイス
	自己啓発力	レベル3です。その調子でがんばりましょう。
	道具活用力	レベル2です。もう少しがんばりましょう。
	人間関係力	レベル3です。その調子でがんばりましょう。

**★ 仕事 華子さんのコンピテンシー・チェック結果履歴**

3件中 1、2 件目を表示 [次を表示>](#)

<p>2011/03/09 17:49:01</p>	コンピテンス	アドバイス
	自己啓発力	レベル2です。もう少しがんばりましょう。
	道具活用力	レベル4です。なかなか良くできています。
	人間関係力	レベル2です。もう少しがんばりましょう。
<p>2011/03/09 17:47:42</p>	コンピテンス	アドバイス
	自己啓発力	レベル3です。その調子でがんばりましょう。
	道具活用力	レベル4です。なかなか良くできています。
	人間関係力	レベル1です。まだまだがんばりましょう。

3件中 1、2 件目を表示 [次を表示>](#)

### 【コンピテンシー・チェック最新結果】

グラフ：チェック結果をコンピテンシー要求項目ごとに得点付けを行い、レーダーチャートで表示します

コンピテンス：コンピテンシー要求項目を表示します

アドバイス：コンピテンシー要求項目ごとに、得点に対するアドバイスを表示します

### 【コンピテンシー・チェック結果履歴】

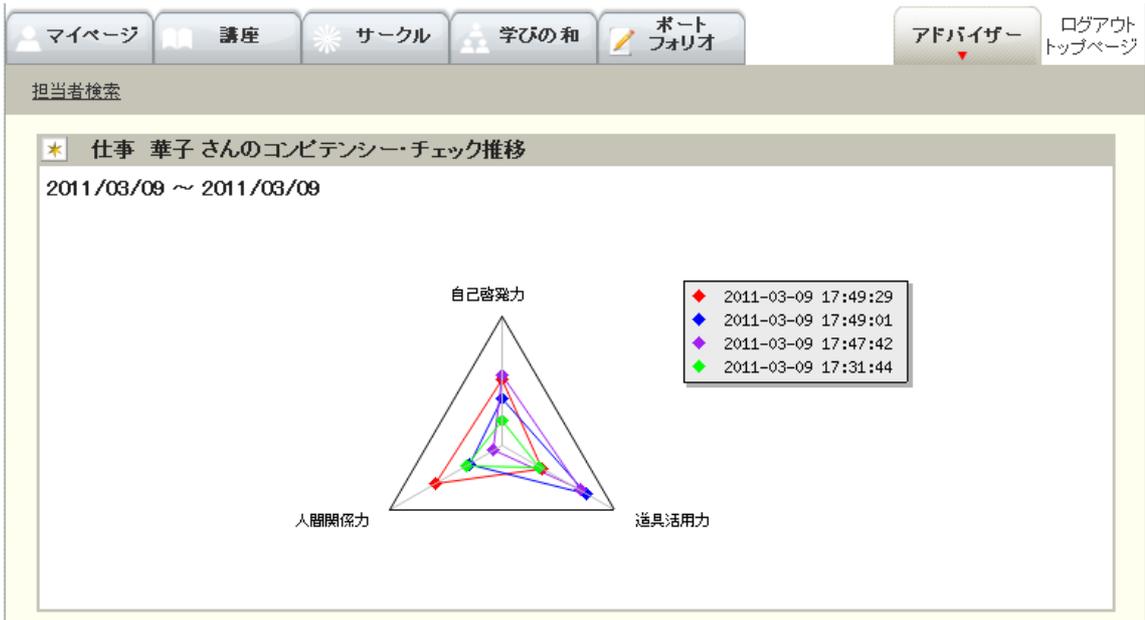
グラフ：チェック結果をコンピテンシー要求項目ごとに得点付けを行い、レーダーチャートで表示します

コンピテンス：コンピテンシー要求項目を表示します

アドバイス：コンピテンシー要求項目ごとに、得点に対するアドバイスを表示します

## S 17 . キー・コンピテンシー自己チェックの分析結果の推移を見る

最新 5 件の分析結果の推移グラフを表示します。



資料8 【参考】インターネット市民塾について

情報通信技術（ICT）を利用して地域の産学官による学習情報・学習機会を提供  
特に市民講師による講座開催、知識発信・交流を促進し市民の社会活動を活性化  
富山をはじめ各地に地域市民塾が広がっている

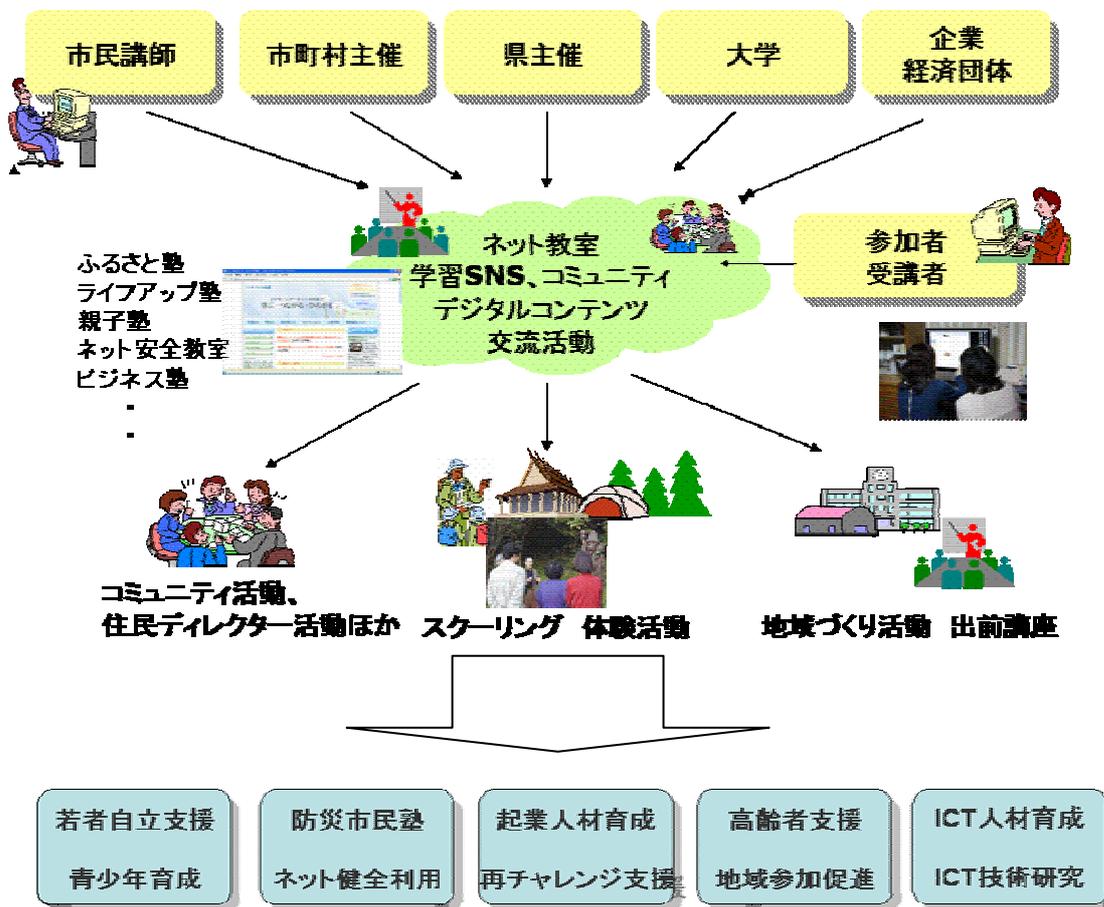
市民が教え合い、考え、共鳴し、地域の内側から元気にする学習コミュニティ・プラットフォームです。ICTを活用した市民の知識交流と社会参加を育て、一人ひとりが地域人材として活動することを支援しています。平成10年に富山で産学官の共同研究に取り組み、各地に地域市民塾が広がっています。

市民が講師となってネット上に講座を開く「現代版寺子屋」が多く生れています。教えることが最高の学びとなり、受講者からも新たな市民講師や学習サークルが誕生し、世代を超えた「知の還流」が生れています。

30代から50代の働き盛りの参加が多く、地域に目を向ける契機となって、まちづくりや防災市民塾などに市民の集合知を形成する例もみられます。また、60代から70代のシニアも急増しており、学ぶことが健康と意欲を高め、70歳を過ぎて起業する例も出ています。

産学官が連携して若者の自立支援、中小企業の人材育成、就業への再チャレンジ支援、地域ぐるみのふるさと教育と交流の推進など、地域課題にも取り組んでいます。

富山での取り組みが各地に波及し地域毎に運営する市民塾が生まれ、これらが協力して地域を越えた交流活動も盛んに行われています。



<活動の様子> \* 富山インターネット市民塾の例

自宅から講座や学習サークルに参加

登録者は 7293 人、主婦や会社員など働き盛りの方が多く参加

市民による講座や学習サークルの開催

市民講師養成コース、ネット教室、サークル運営システムを提供

22 年度は 92 講座・サークルが開催

県・市町村が協力して、ふるさと学習推進員を養成

22 年度は県内各市町村より 73 人が巣立ちました

学校や公民館、児童クラブ等で子どもたちのキャリア教育や若者の自立を支援する活動が広がっています

\* 提供中の主なコンテンツ

・子どもたちの職業観を育てる「e 手仕事図鑑」(全 48 タイトル)

職人の技、ものづくりの面白さ、難しさ、やりがいを体験学習によって学び、将来の仕事を考え、情報活用の力を身につけます

・若者未来 e ラーニング(全 90 タイトル)・ ・悩みながらもさまざまな働き方、やりがいを見つけている若者を紹介しています

・ネット安全教室(5 タイトル)・ ・携帯電話、インターネットの特徴を知り、情報社会に暮らす心構えを身につけます

・ふるさと学習文庫(21 タイトル)・ ・県内各市町村にちなんだ教材が収録。学校や公民館でいつでも利用できるようにしています  
学んだことを活かして、地域活動が広がっています

ICT を活用し、また、コーチング、コミュニケーションなど身につけたことや、学んだ知識を活かして、地域に活動の場を広げる人が生まれています。働きながらネットを通じて活動できることが特徴

(例 1) 富山市シルバー情報サポート活動

携帯端末(スマートフォン・タブレット PC)を活用して高齢者の情報バリアフリーを支援する活動が始まっています

(例 2) 地域の取っておきを住民の目線で発信する「住民ディレクター」が活躍しています

(例 3) 高校生のキャリア教育や再就職を目指す講座の受講者を励ます e メンターが活躍しています

働き盛りを応援する学習機会を提供しています

・起業チャレンジ講座(29 タイトル)・ ・さまざまな分野の起業家を紹介しています。高校生のキャリア教育にも活用されています

・ビジネス塾(58 タイトル)・ ・社外、異業種との交流・学び合いによって、ひとまわり大きな視野を持って学んでいます。経営者経営哲学講座は特に人気があり、企業を越えて経営者の深い考えを学んでいます。これまで 1096 人が受講しています

企業、市町村、商工会議所等が、地域の観光、産業、文化等を全国に発信し、富山に学ぶ場を提供しています

(例)「とやま薬ロマン 売薬さんが歩いてきた路」(広貫堂)

「佐々成政を往く」(富山商工会議所、富山市、NHK 富山放送局)



自宅から参加



市民講師から学ぶ



e 手仕事図鑑体験学習



公民館でのワークショップ



シルバー情報サポート活動

市民によるインターネット講座開催、学習サークル活動の例（富山インターネット市民塾）

				
<a href="#">自分で考えやる気を引き出すコーチング入門</a>	<a href="#">人生を楽しむ本</a>	<a href="#">今からでも間に合う資産運用～投資信託編</a>	<a href="#">ICTふるさと学習推進員養成講座（市民講師養成講座）</a>	<a href="#">【市民塾文庫】越中北前船のはなし～近世越中国の産業と人々～</a>
				
<a href="#">熟年バックパッカー海外（南半球）の旅</a>	<a href="#">富山の町歩き（初級・中級・上級）</a>	<a href="#">映画で学ぶ社会学</a>	<a href="#">筆の感触をたのしみませんか（かな講座基礎編）</a>	<a href="#">富山のへるんさん</a>
				
<a href="#">女子力アップ☆講座</a>	<a href="#">わくわくパソコンクラブ</a>	<a href="#">パソコン初心者でもできる！動画で学ぶインターネットオークション</a>	<a href="#">おうちでできる「アロマセラピー検定」対応講座2011</a>	<a href="#">越中国史概説～律令制前後から幕藩体制の確立まで～</a>
				
<a href="#">二上山探訪</a>	<a href="#">気軽に星を見に行こう</a>	<a href="#">新QC 7つ道具を覚えて職場の上司・仲間を驚かせてみませんか</a>	<a href="#">自分を変える生き方「健・巧・快人生」</a>	<a href="#">体験してみよう♪アートセラピー</a>
				
<a href="#">笑顔輝くいきいき談話室</a>	<a href="#">簡単！デジカメ撮影レベルアップ講座（雑貨小物編）</a>	<a href="#">経営者哲学</a>	<a href="#">社会を知る、企業を知る</a>	<a href="#">若者未来eランニング</a>
				
<a href="#">富山と昆布</a>	<a href="#">デジタルアーカイブ世界一周法②</a>	<a href="#">デジタルアーカイブ世界一周法①</a>	<a href="#">立山カルデラ・砂防探求会</a>	<a href="#">名水・ふるさと探訪のサークル</a>

## ケーブルテレビを通じたふるさと講座（平成22年度富山インターネット市民塾）

番組名 伝えたいふるさと富山  
放送回数 計4回（平成22年12月～平成23年3月）  
学習コミュニティを開設した推進員の方々が制作した

### 1. [放送期間]平成22年12月18日(土)～平成22年12月24日(金)

[放送時間]7:20～、12:55～、18:55～（各5分間）



「立山カルデラ・砂防探求会」  
【制作】村田 彰（ICTふるさと学習推進員）

「名水・ふるさと探訪サークル」  
【制作】堀 康廣（ICTふるさと学習推進員）



### 2. [放送期間]平成23年1月15日(土)～平成23年1月21日(金)

[放送時間]7:20～、12:55～、18:55～（各5分間）



「越中北前船のはなし～近世越中国の産業と人々～」  
【制作】水木 智子（ICTふるさと学習推進員）

「たまには山に登ってみるかい(会)?」  
【制作】サークルメンバー

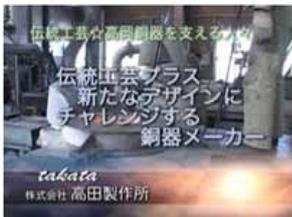
「ヘルン語り部セミナー」  
【制作】市民塾



手工業・工芸 (34)



木型【H22年度助成で作成】



高岡銅器【H22年度助成で作成】



ガラス造形【H22年度助成で作成】



能面【H22年度助成で作成】



壺【H22年度助成で作成】



片瀬独楽【H22年度助成で作成】



船【H22年度助成で作成】



筆野筆【H22年度助成で作成】



肥後象嵌【H22年度助成で作成】



い草編み【H22年度助成で作成】



土佐和紙【H21年度助成で作成】



紀州漆器【H21年度助成で作成】



草木染め【H21年度助成で作成】



紀州へら竿【H21年度助成で作成】



紀州備長炭【H21年度助成で作成】



かずら籠【H21年度助成で作成】



縄あみ【H21年度助成で作成】



陶芸【H21年度助成で作成】



ブリキ造形【H21年度助成で作成】



アートフラワー【H21年度助成で作成】



刃物【H21年度助成で作成】



木工芸【H21年度助成で作成】



食品サンプル【H20年度助成で作成】



石工芸【H20年度助成で作成】



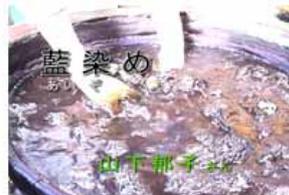
彫金【H20年度助成で作成】



和裁【H20年度助成で作成】



能面【H20年度助成で作成】



藍染め【H20年度助成で作成】



井波彫刻【H20年度助成で作成】



和蠟燭【H20年度助成で作成】



家具【H20年度助成で作成】



ジュエリー【H20年度助成で作成】



靴【H20年度助成で作成】

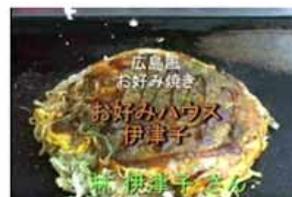


表具【H20年度助成で作成】

## 食品製造 (9)



ピザ【H22年度助成で作成】



お好み焼き【H22年度助成で作成】



辛子蓮根【H22年度助成で作成】



天日塩【H21年度助成で作成】



皿鉢料理【H21年度助成で作成】



竹輪【H21年度助成で作成】



五箇山豆腐【H20年度助成で作成】



パン【H20年度助成で作成】



和菓子【H20年度助成で作成】

## 農業 (2)



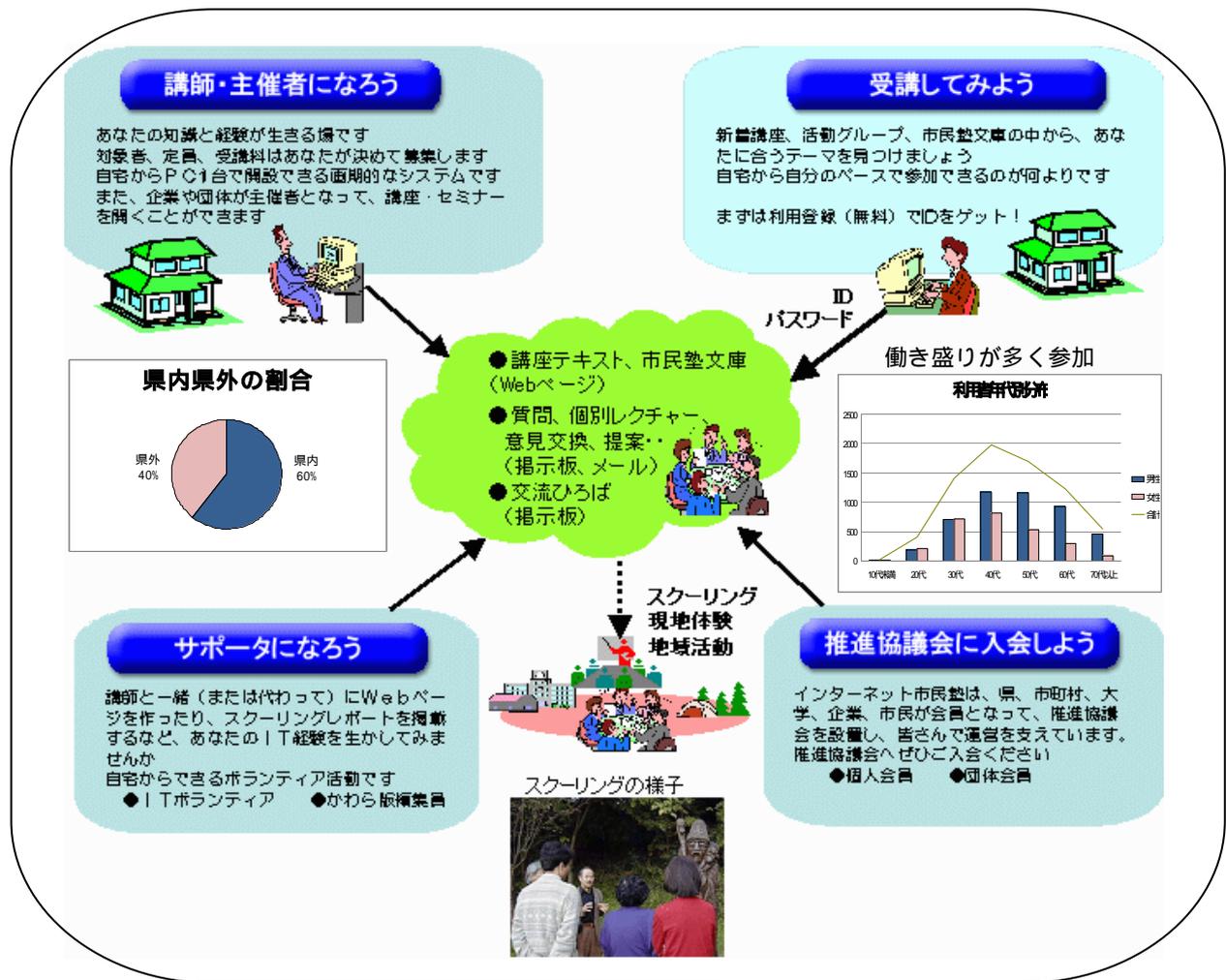
酪農【H20年度助成で作成】



ハーブ栽培【H20年度助成で作成】

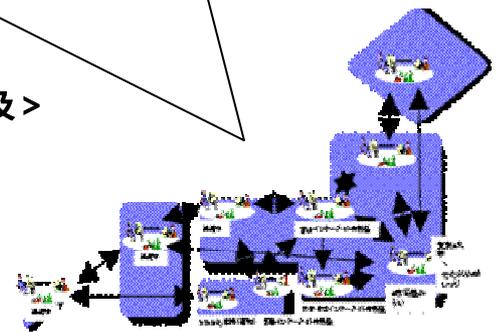
## サービス (3)

## <インターネット市民塾の仕組み>



## <全国への波及>

- 富山インターネット市民塾(富山県)
- せたがやeカレッジ(世田谷区)
- e市民塾みらい(横浜市)
- わかやまインターネット市民塾(和歌山県)
- Kochiくろしお学校(高知県)
- とくしまインターネット市民塾(徳島県)
- くまもとインターネット市民塾(熊本県)
- 京都eラーニング塾(京都府)
- 東峰そんみん塾
- SFC市民塾(藤沢市)
- 尾道インターネット市民塾(尾道市)



富山インターネット市民塾: <http://toyama.shiminjuku.com/>

同、ビジネス塾: <http://biz.shiminjuku.com/>

若者未来eラーニング: <http://mirai.shiminjuku.com/>

NPO法人地域学習プラットフォーム研究会 <http://shiminjuku.com/>

問い合わせ e-mail [support@shiminjuku.org](mailto:support@shiminjuku.org) TEL:076(439)8666

〒930-0805 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル3F

## 資料9 国内外におけるeポートフォリオの利用状況

### (1) 海外の事例

- ・ マギル大学 (McGill Univ., Office of Student Teaching)  
教育学部全学生に、卒業時にeポートフォリオの作成を義務付けおり、学生はコンピテンシーの達成度合いを実績を示しつつチャートにする。ケベック州作成の「教師のための12のコアコンピテンシー」に基づき評価している。  
<http://www.mcgill.ca/files/ost/TESLPortfolio.pdf>
- ・ アメリカン大学教育学修士 (School of Education, American University)  
eポートフォリオの提出が卒業要件である。特別なリンクを通して、学外のユーザからもアクセス可能にしている。eポートフォリオで教育経験を示せば、コースワークの免除のオプション有。  
<http://portfolio.soe.american.edu/>
- ・ クレムゾン大学 (Clemson University)  
一般教養課程において、エビデンスの収集・提示が可能。学習進捗状況やコンピテンシー等に関する機能を持ち、ライティングやオーラルコミュニケーション等を扱っている。  
<http://www.clemson.edu/academics/programs/eportfolio/>
- ・ クリーブランド州立大学 (Cleveland State University)  
以下の4つのコンテナをもつ。リポジトリ:エビデンスを収集・保管、ワーキングポートフォリオ:必要なポートフォリオを指導教授に提出、プロフェッショナルポートフォリオ:アセスメント、エンプロイメントポートフォリオ:リクルート用ポートフォリオ。  
[https://eportfolio.csuohio.edu/eportfolio\\_system/main/login.cfm](https://eportfolio.csuohio.edu/eportfolio_system/main/login.cfm)
- ・ インディアナ大学 (Indiana University)  
Sakai CLE ベース。コンピテンシに関連した活用や種々の目的で利用されている。  
<https://oncourse.iu.edu/osp-portal/site/!eportfoliogateway/page/a87be64f-b80e-4cb7-00a8-9b9d3873e8af>
- ・ オークランド大学 (Oakland University)  
Moodle ベース。学生、教員、職員用、個々にゲストを指定可能である。  
<http://www2.oakland.edu/elis/eportfolio.cfm>
- ・ プリマス州立大学 (Plymouth State University)  
Mahara ベース。学生や教員の利用例が示される。  
<http://www.plymouth.edu/online/learningtechnologies/mahara.html>

### (2) 国内の事例

- ・ 日本女子大学  
ロールモデル型eポートフォリオ(第4回日本e-learning大賞)であり、卒業生のポートフォリオを在学生の目標設定に活用することで、学習目的・学習パスを明確にする。目標ロールモデルと自分との差分を視覚化して、目的とする能力を効果的に身につけることができ、比較するべき能力は、1.専門知識、2.問題解決能力、3.語学力、4.表現力、5.分析力、6.ITスキルとなっている。  
[http://mcm-www.jwu.ac.jp/~kayo\\_lab/research/portofolio/](http://mcm-www.jwu.ac.jp/~kayo_lab/research/portofolio/)

- ・ 山形大学  
 教務システムベースのプレゼンテーションeポートフォリオであり、学士課程到達目標を明示化し、教育・学習の成果を「見える化」している。学生にとっての科目プランナー・リフレクションツールとして働く。教育ディレクター制度やYU-GP制度とともに活用している。  
<http://www.yamagata-u.ac.jp/KY-K/GP/04.html>
- ・ 弘前大学  
 「教育者総覧」というティーチングポートフォリオを公開している。授業設計者である教員自らが教育に対する姿勢を見つめ直すとともに、教育活動の自己評価・「検証」を促す試み。  
<http://www.hirosaki-u.ac.jp/edusoran/>
- ・ 熊本大学教授システム学専攻（eラーニング大学院）  
 LMS上の学習成果物を自動収集し、コンピテンシーに基づき分類。プレゼンテーション支援機能の実装。Sakai CLEのOSPベース。  
<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/gp/portfolio/>
- ・ Fレックス  
 地域学習コミュニティ(福井県学習コミュニティ推進協議会)として活用している。Maharaベース。  
<http://eport.f-leccs.jp/view/view.php?id=1849>
- ・ 富山インターネット市民塾  
 市民活動における生涯学習として利用。「学びの貯金箱」として学習成果を記録。コンピテンシーに基づき、就学支援。  
[http://toyama.shiminjuku.com/?m=open&a=page\\_l\\_news\\_detail&target\\_l\\_news\\_id=86](http://toyama.shiminjuku.com/?m=open&a=page_l_news_detail&target_l_news_id=86)

## 資料 1 0 参考文献

Zubizarreta, J. (2009). "The Learning Portfolio: Reflective Practice for Improving Student Learning (2nd Edition)", Jossey-Bass.

M. van Wesel & A. Prop (2008). "The influence of Portfolio media on student perceptions and learning outcomes.". Paper to be presented at the Student Mobility and ICT: Can E-LEARNING overcome barriers of Life-Long learning Conference, Maastricht.

IMS (2005). "IMS ePortfolio Best Practice and Implementation Guide Version 1.0 Final Specification", [http://www.imsglobal.org/ep/epv1p0/imsep\\_bestv1p0.html](http://www.imsglobal.org/ep/epv1p0/imsep_bestv1p0.html) .